

市村記念体育館利活用基本計画 《 概要版 》

はじめに

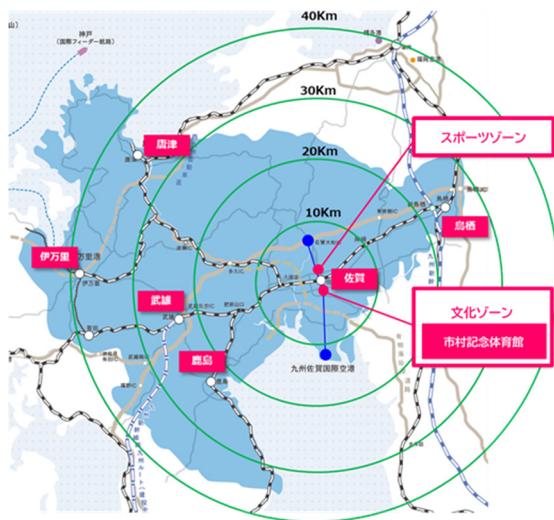
1. 位置づけ

市村記念体育館の利活用に向けて、検討委員会における様々な意見を踏まえ、目指すべき姿や利活用の基本方針、施設の基本機能、活用イメージ、運営方針等をまとめるとともに、計画の具体化に向けて必要となる課題の抽出と今後の進め方を示すものです。

3. 施設の周辺環境

<佐賀城内エリアの位置づけ>

佐賀駅北の『スポーツゾーン』に対して、佐賀駅南の佐賀城内エリアは、市村記念体育館のほか、県立図書館、博物館・美術館、佐賀城本丸歴史館などの文化施設や教育機関が集積しており、城内を囲む堀や豊かな樹木など落ち着いた景観の中で、県民が学び、文化や芸術に触れることができる『文化ゾーン』として位置付けています。



2. 背景・趣旨

維新博を通じて、多くの方に感動や勇気を与え、いくつもの新たな「志」が芽生える場所となった市村記念体育館を、今後、長きにわたり維新の「志」を引き継ぎ、佐賀県の未来を創造する拠点として新たに生まれ変わらせることを念頭に、利活用の検討を行うこととしました。

<佐賀城内エリアの文化施設等の状況>

佐賀城内エリアは、市村記念体育館のほか、図書館、博物館・美術館、佐賀城本丸歴史館などの県を代表する文化施設や教育機関が集積しており、「観る」施設、「知る」施設は充実していますが、文化や芸術活動を「体験したり」、「創出したり」するような機能は必ずしも十分ではない状況にあります。



I 利活用基本方針

1. 利活用の基本的な考え方・目的

利活用にあたっては、『今後、長きにわたり維新の「志」を引き継ぎ、佐賀県の未来を創造する拠点として新たに生まれ変わらせる』ということを念頭に、文化・芸術などの様々な体験や創作活動を通じて、自らの力で次の世代に必要なものを作り出す力（デザイン力）を持った人材を育成することを目的としています。そのためには、県有施設としての役割、施設の運営、施設の姿、文化を楽しめることができる環境などの視点も重要であると考えています。

2. 目指すべき姿

『佐賀の未来を創る、佐賀が未来を創る、文化体験・創造拠点』

多彩な文化・芸術等の活動を通じ、新しい技術や知識に触れ、自ら考え創造的な活動に取組みきっかけを生み出す場所。また、次世代に必要なものを自ら考え作り出すような力を持つ人材を培う場所。

(1) 維新の「志」を継承し、次世代を担う人材を育む施設

佐賀県の未来を担う世代が、“自ら考え行動する力”や、新たな時代に対応し、“考えを組み立て創造する力”を身につける場。

人材育成

(2) 佐賀城内エリアの価値と調和し、多彩な文化・芸術等の活動を行う施設

落ち着いた歴史的景観や豊かな環境に囲まれる佐賀城内エリアの資源や各施設の機能と調和した多彩な文化・芸術等に資する活動を展開する場。

文化・芸術振興

(3) 幅広い活用と交流の創出により、地域活性化に寄与する施設

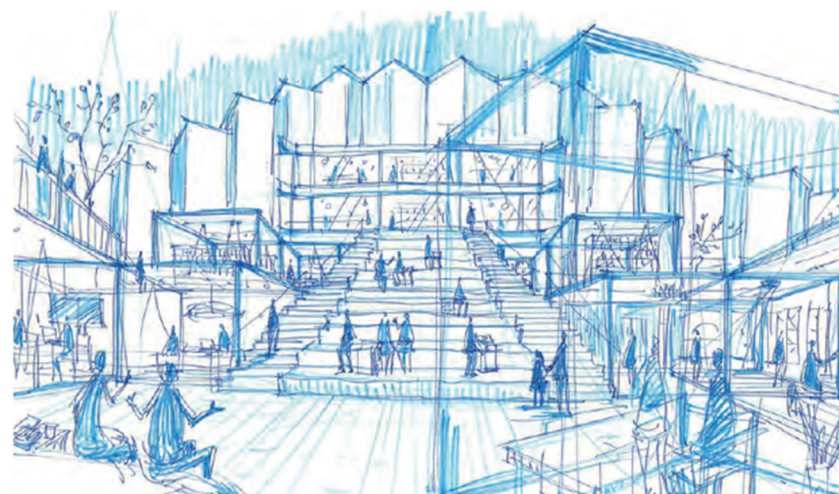
幅広い人が訪れ、交流を創出することで、佐賀県の飛躍の原動力となるような、地域活性化に寄与する活動の場。

地域活性化

(4) 持続可能な運営を担保できる事業を展開する施設

民間事業者のノウハウやアイデアを活かしながら、連携可能な活動や事業性を導入し、持続可能な運営を担保できる事業を展開する場。

持続可能な運営

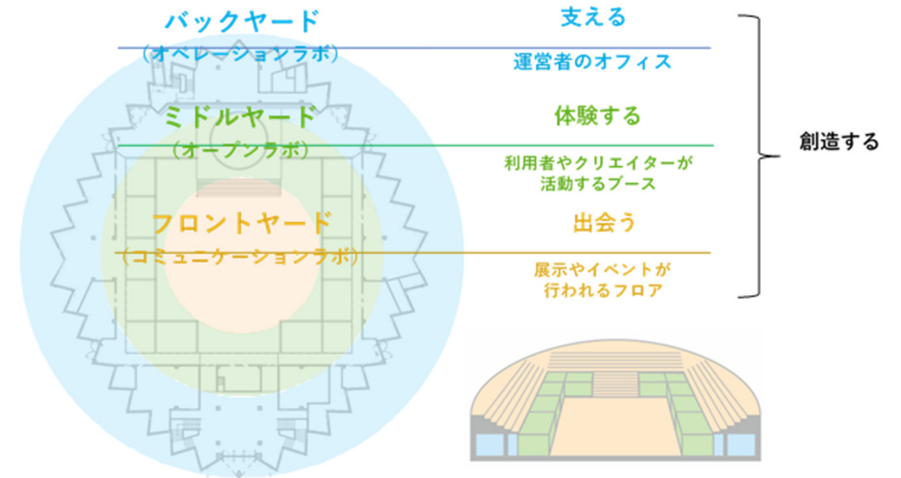


活用イメージ



3. 施設の活用イメージ

この施設は、エリアや世代を問わず、多彩な文化・芸術等に出会い、鑑賞し、自ら文化・芸術の創造的な活動ができる場となるように、文化・芸術を軸に複合的な機能を有する拠点として活用することを想定しています。運営者が事業を行う「バックヤード（オペレーションラボ）」、多様な業態の企業のプロフェッショナル、クリエイター、デザイナー等と利用者が交わり文化芸術の活動を共にする「ミドルヤード（オープンラボ）」、利用者が文化芸術に出会う「フロントヤード（コミュニケーションラボ）」というように、参加者のレベルに合わせた空間構成とします。



II 具体化に向けて

1. 利活用基本計画の具体化に向けて

利活用基本計画では、利活用の基本的な考え方や利活用にあたって必要な視点、目指すべき姿、施設の運営方針など、利活用に向けた一定の方向性をまとめました。今後、具体化にあたっては、検討により見えてきた課題の解決や、運営などの詳細な検討を進め、スケジュール感をもって進めていく必要があると考えています。

2. 課題の整理

利活用に向けて検討が必要な課題について、以下のとおり整理します。

- ・ 施設の基本機能の具体化
- ・ 政策間連携
- ・ 地域間連携
- ・ 今日的課題に応える施設の実現
- ・ 耐震改修と施設の利活用
- ・ 交通アクセスの確保
- ・ 機運醸成と意見収集
- ・ 新たな財源の調査・検討

【整備スケジュール】

| 時期 | R3 (2021) | R4 (2022) | R5 (2023) | R6 (2024) | R7 (2025) |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 計画 設計 工事 | 基本計画 | 設計公募 | 利活用設計 | | |
| | 現況調査 | 耐震設計 | 工事入札 | 利活用・耐震工事 | |

【概算事業費】

基本計画策定・設計・工事費等：約 35.5 億円